

鋼材貿易商社の大成興業

大澤 基宏相談役に聞く

「昨年を振り返ると、設置需要が動き出さず、並みの水準に落ち着くことになりそうだ」

「景気動向はどうか。好調な自動車生産に動くはずで、世界産はまだ続く。そのた規程でも好影響を与え、輸出量が増えるだろう。TPP脱退は考えにくく、今年などは保護貿易も進める減る可能性もあると見られる」

「今年の日本の鋼材輸入量は、どう予想しますか」

「海外市場を見ると、中国の輸出量が昨年も年1億トンを超えるペースとなった結果、各地で一昨年を引き続いて貿易摩擦が起こった。たとえば、米国ではA D提訴が相次ぎ、インドではセーフガード(SG)が発動された。日本は期待された建

「輸入材が市況を押し下げる。対日向けを現実的に下押ししている。指摘もありました。国内高炉メーカーからは手厳しい意見がなびモ付き分野について」

「輸入材は国内材と共存共栄の道を歩んでおり、国内材を駆逐するようない事象にはならぬ。国内が縮小すれば、輸入材は減るだろうし、内需が拡大すれば、輸入量も増える。今年には鋼材需要に関する五輪需要もあって、プラス材料が多く、来年は、いよいよマイナスイメージも出てくる。先行きは明らかではない。内需拡大に伴う『自然増』と供給過剰が指摘されている。前半はロールが逼迫しているため、輸入量は減るだろうが、後半はカーは量よりも利益を最優先にしている。昨年を490万ト、今年を500万トとすれば、今年500万ト前後、去年を490万トとすると、10万ト前後の増減になる。これは中国の動向に左右される。年々輸入量は増えている。17年は、どう見ても、数量が増減している。原料炭の価格高騰を考えると、15年実績を若干下回る490万ト程になるだろう。昨年輸入材は契約から入る

輸入材、国内材と共存共栄

況は底ばい状態が続いている。輸入材は国内材と共存共栄に感じるところがある。底ばい状態が続いている。輸入材は国内材と共存共栄に感じるところがある。底ばい状態が続いている。輸入材は国内材と共存共栄に感じるところがある。

「普通鋼用途と見られる中国製合金鋼を含む。国内材も実需見合いで動向に薄板では高炉メーカーが来年1月出荷分を490万ト程に下回ると見られる。昨年輸入材は契約から入る」

鋼材需要にプラス材料多い 今年は「自然増」か

「解消はされないだろうが、最近の中国メーカーは量よりも利益を最優先にしている。昨年を490万ト、今年を500万トとすれば、今年500万ト前後、去年を490万トとすると、10万ト前後の増減になる。これは中国の動向に左右される。年々輸入量は増えている。17年は、どう見ても、数量が増減している。原料炭の価格高騰を考えると、15年実績を若干下回る490万ト程になるだろう。昨年輸入材は契約から入る」

「輸入材は国内材と共存共栄の道を歩んでおり、国内材を駆逐するようない事象にはならぬ。国内が縮小すれば、輸入材は減るだろうし、内需が拡大すれば、輸入量も増える。今年には鋼材需要に関する五輪需要もあって、プラス材料が多く、来年は、いよいよマイナスイメージも出てくる。先行きは明らかではない。内需拡大に伴う『自然増』と供給過剰が指摘されている。前半はロールが逼迫しているため、輸入量は減るだろうが、後半はカーは量よりも利益を最優先にしている。昨年を490万ト、今年を500万トとすれば、今年500万ト前後、去年を490万トとすると、10万ト前後の増減になる。これは中国の動向に左右される。年々輸入量は増えている。17年は、どう見ても、数量が増減している。原料炭の価格高騰を考えると、15年実績を若干下回る490万ト程になるだろう。昨年輸入材は契約から入る」



16年普

板厚薄延延熱
めつき鉛鋳
線

鋼材の現況に
くた一方、日本の国内
が併し、宝武鋼鉄集
団が誕生した。今後、
中国鉄鋼業で再編の流
に影響を与えそうなの
可能性もありそうだ。

「輸入材は国内材と共存共栄の道を歩んでおり、国内材を駆逐するようない事象にはならぬ。国内が縮小すれば、輸入材は減るだろうし、内需が拡大すれば、輸入量も増える。今年には鋼材需要に関する五輪需要もあって、プラス材料が多く、来年は、いよいよマイナスイメージも出てくる。先行きは明らかではない。内需拡大に伴う『自然増』と供給過剰が指摘されている。前半はロールが逼迫しているため、輸入量は減るだろうが、後半はカーは量よりも利益を最優先にしている。昨年を490万ト、今年を500万トとすれば、今年500万ト前後、去年を490万トとすると、10万ト前後の増減になる。これは中国の動向に左右される。年々輸入量は増えている。17年は、どう見ても、数量が増減している。原料炭の価格高騰を考えると、15年実績を若干下回る490万ト程になるだろう。昨年輸入材は契約から入る」

「輸入材は国内材と共存共栄の道を歩んでおり、国内材を駆逐するようない事象にはならぬ。国内が縮小すれば、輸入材は減るだろうし、内需が拡大すれば、輸入量も増える。今年には鋼材需要に関する五輪需要もあって、プラス材料が多く、来年は、いよいよマイナスイメージも出てくる。先行きは明らかではない。内需拡大に伴う『自然増』と供給過剰が指摘されている。前半はロールが逼迫しているため、輸入量は減るだろうが、後半はカーは量よりも利益を最優先にしている。昨年を490万ト、今年を500万トとすれば、今年500万ト前後、去年を490万トとすると、10万ト前後の増減になる。これは中国の動向に左右される。年々輸入量は増えている。17年は、どう見ても、数量が増減している。原料炭の価格高騰を考えると、15年実績を若干下回る490万ト程になるだろう。昨年輸入材は契約から入る」

「輸入材は国内材と共存共栄の道を歩んでおり、国内材を駆逐するようない事象にはならぬ。国内が縮小すれば、輸入材は減るだろうし、内需が拡大すれば、輸入量も増える。今年には鋼材需要に関する五輪需要もあって、プラス材料が多く、来年は、いよいよマイナスイメージも出てくる。先行きは明らかではない。内需拡大に伴う『自然増』と供給過剰が指摘されている。前半はロールが逼迫しているため、輸入量は減るだろうが、後半はカーは量よりも利益を最優先にしている。昨年を490万ト、今年を500万トとすれば、今年500万ト前後、去年を490万トとすると、10万ト前後の増減になる。これは中国の動向に左右される。年々輸入量は増えている。17年は、どう見ても、数量が増減している。原料炭の価格高騰を考えると、15年実績を若干下回る490万ト程になるだろう。昨年輸入材は契約から入る」

「輸入材は国内材と共存共栄の道を歩んでおり、国内材を駆逐するようない事象にはならぬ。国内が縮小すれば、輸入材は減るだろうし、内需が拡大すれば、輸入量も増える。今年には鋼材需要に関する五輪需要もあって、プラス材料が多く、来年は、いよいよマイナスイメージも出てくる。先行きは明らかではない。内需拡大に伴う『自然増』と供給過剰が指摘されている。前半はロールが逼迫しているため、輸入量は減るだろうが、後半はカーは量よりも利益を最優先にしている。昨年を490万ト、今年を500万トとすれば、今年500万ト前後、去年を490万トとすると、10万ト前後の増減になる。これは中国の動向に左右される。年々輸入量は増えている。17年は、どう見ても、数量が増減している。原料炭の価格高騰を考えると、15年実績を若干下回る490万ト程になるだろう。昨年輸入材は契約から入る」

「輸入材は国内材と共存共栄の道を歩んでおり、国内材を駆逐するようない事象にはならぬ。国内が縮小すれば、輸入材は減るだろうし、内需が拡大すれば、輸入量も増える。今年には鋼材需要に関する五輪需要もあって、プラス材料が多く、来年は、いよいよマイナスイメージも出てくる。先行きは明らかではない。内需拡大に伴う『自然増』と供給過剰が指摘されている。前半はロールが逼迫しているため、輸入量は減るだろうが、後半はカーは量よりも利益を最優先にしている。昨年を490万ト、今年を500万トとすれば、今年500万ト前後、去年を490万トとすると、10万ト前後の増減になる。これは中国の動向に左右される。年々輸入量は増えている。17年は、どう見ても、数量が増減している。原料炭の価格高騰を考えると、15年実績を若干下回る490万ト程になるだろう。昨年輸入材は契約から入る」